

# 山口県地域両立支援推進チーム第8回会議を開催しました

治療と仕事の両立支援とは、病気を抱えながら働く意欲・能力のある労働者が、適切な治療を受けながら生き生きと働き続けられる社会を目指す取り組みです。山口労働局は、令和6年9月10日（火）、令和6年度山口県地域両立支援推進チーム会議を開催しました。会議では各機関の取組状況について共有するとともに、両立支援に関する課題や今後の取り組みについて、活発な議論が行われました。



会議では「山口県地域両立支援推進チームアクションプラン」取組状況のうち、[両立支援コーディネーター基礎研修](#)の受講者数については、令和6年3月末日現在、山口県の修了者数は338人という状況であること、また、「[治療と仕事の両立支援連絡帳](#)」については、産業保健総合支援センターが令和4年に行ったアンケート結果によると、企業における連絡帳自体の認知度が約2割と低い状況であることについて、事務局から報告がなされました。

また、アクションプランのうち、本年度の取り組みとして、「両立支援セミナー」の開催について意見交換がなされました。厚生労働省は毎年両立支援のシンポジウムを実施していますが、県内では初めての試みになります。意見交換の結果、30人程度の規模で可能であれば複数開催、講演内容は、山口大学教授の講演、がん患者の体験談としつつも労働者側使用者側にも参考になるものが良いとの結論になりました。



さらに、両立支援の取組のない事業場がこれから取組を進める上で活用することのできる「取組事例集」を作成するについても意見交換がなされました。同事例集は、取組事例（患者や担当からのメッセージ）、相談窓口案内、各種支援制度等の構成とし、年度内の完成を目指すことになりました。

## 参加者からの御意見・御報告

- 30分無料相談（「[りぼら](#)」）を是非活用をお願いしたい。ネットでの相談も可能である（特定非営利活動法人日本キャリア開発協会中国・四国支部 山口地区）。
- 会員（[産業カウンセラー](#)）の多くは、企業等に所属し、カウンセリングを実施している。また、自殺予防週間の電話相談対応業務も受けている。研修サービスも実施しているので利用いただきたい（一般社団法人日本産業カウンセラー協会 中国支部）。
- 労働者数50人以上の約1,400事業場に対してコーディネーター基礎研修の受講勧奨、また、山口県産業安全衛生大会において、両立支援関係の展示ブースの出展が決定している（山口県産業保健総合支援センター、取り組みは[こちら](#)）。
- [不妊治療と仕事の両立サポートブック](#)、[助成金](#)も活用頂きたい（労働局雇用環境室）。

両立支援に取り組んでいる企業の割合はまだ大きいとは言えませんが、労働力（人財）の確保や健康経営の観点からも、両立支援に取り組むことは年々その重要性を増しています。貴重な人財を失う前に、両立支援を始めてみましょう。御興味のある方は、山口労働局健康安全課（083-995-0373）までお問い合わせ下さい。



働く人々の幸せと雇用の安定を

厚生労働省山口労働局